

世界の火山を調査する

日時：平成30年3月7日（水）

15:00～16:00

講師：大場 司 氏 秋田大学大学院
国際資源学研究科教授

会場：秋田大学大学院国際資源学研究科
附属鉱業博物館 講堂

〒010-8502 秋田市手形字大沢28-2 電話 018-889-2461

（入館・聴講ともに無料。事前申込は不要です。）

秋田大学国際資源学部岩石学研究室では、火山噴火やマグマの成因、火山と鉱物資源との関わりについて調査するために国内外問わず野外調査を行っています。本講演では、ジャワ、スマトラ、ラバウル、アンデス、モンゴルなどで実施した調査の様子について、各国の文化の紹介を交えながら報告します。



2014年に噴火したラバウルのダブル火山。戦時中は日本軍の空港が近くにあり、花咲山と呼ばれていました。



モンゴルで新たに発見したハルグジット火山を馬に乗って調査。チンギスハーンの都ハラホリンや朝青龍の故郷ホジルトから少し奥地へ進んだ場所にあります。